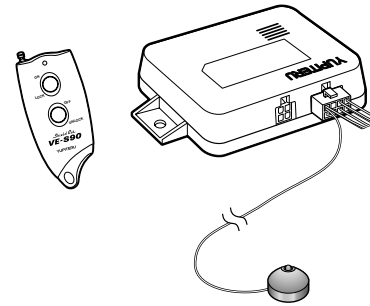


VE-S90

取扱説明書



このたびは、ユピテルの自動車用盗難警告・警報装置をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、大切に保管してください。

本機はセンサーにより本機取り付け車の異常を感知し警告または警報をする装置です。万一発生した盗難事故、いたずらなどによる損害・被害に対して保証はできませんので、あらかじめご了承ください。

本機は、オープンカーでは使用できません。



警告

■取り付けには、専門知識が必要です。
誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

目次

はじめに	主な特長	2
	ご使用の前に(安全上のご注意)	4
	基本接続図とセット内容	6
	各部の名称と働き	8
	リモコンの上手な使いかた	10
操作方法	電池交換のしかた	11
	セキュリティの設定	12
	セキュリティの解除 (警報の止めかた)	14
	スリープ機能について	15
	スタンバイ時間の変更	16
	カレントセンサーの ON/OFF設定	17
	音圧センサーの感度変更 (強い衝撃に対応)	18
	振動センサーの感度変更 (別売オプションの振動センサー を取り付けている場合)	19
	別売オプションについて	20
	高感度振動センサー: A-12SF ..	21
別売オプション	フィールドセンサー: A-13SF ..	21
	ドア開検出線: A-14SF	23
	傾斜センサー: A-15SF	23
	キーレスエントリー: A-17SF ..	24
	ハザード制御: A-18SF	25
	外付けサイレン: A-19SF	25
	簡易イモビライザー: A-21SF ..	26
その他	追加リモコン: A-11SF	27
	動作の確認方法	29
	異常を感知したときの動作	30
	故障かな?と思ったら	32
	アフターサービスについて	34
	仕様	35

主な特長

1 高性能音圧センサーと電流センサーによる二重監視

- 音圧センサー…ドアが開いたときや、ウィンドウやボディが強打されたときの車内に発生するわずかな空気振動や衝撃音を検出します。
- カレントセンサー…車のドアが開けられたときの車内灯点灯などによる電流変化を検出します。

2 車外からセキュリティの設定/解除ができる小型防滴リモコン

セキュリティの設定/解除のほか、リモコンで音圧センサーや振動センサー(別売オプション)の感度変更やカレントセンサーのON/OFF設定、セキュリティが設定されてから監視動作にはいるまでの時間(スタンバイ時間)の変更ができます。

3 LEDの点滅による“みはり効果”で盗難やイラズラを未然に防止

監視中はダッシュボード取り付けのセキュリティインジケータがゆっくりと点滅し、“みはり効果”を演出します。

- ※ スタンバイ中は点滅、監視中はゆっくり点滅、警報中は早い点滅で本機の動作状態を表します。

4 周囲への騒音迷惑を配慮

- 弱い衝撃音と強い衝撃音を区別して警告・警報

小動物や人・物が接触するなどの弱い衝撃に対しては「ピッ」と鳴り警告するだけ。強い衝撃やドア開など、センサーが異常を検出したときには、検出したセンサーにより区別して警報します。

- 本体ユニットにサイレンを内蔵

車室内に取り付けられる本体ユニットにサイレンを内蔵していますので、不審者の車内侵入を威嚇し撃退するとともに、周囲に対しては大きな騒音を発しないため、近所迷惑となりません。

5 ターボタイマー、リモコンエンジンスターターとの併用が可能

スタンバイ時間(監視動作にはいるまでの時間)がリモコンで任意に設定できますので、アフターアイドリング時間経過後にセキュリティの監視動作に入ることができます。

- ※ 他社製エンジンスターターやターボタイマーでACC電源の制御をしていないものとは併用できません。
- ※ ユビテルのエンジンスターターは、国産のオートマチック車で、専用ハーネスの設定がされている車種に取り付けが限定されます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

6 ユビテルのドアロック/アンロック機能付きエンジンスターターのリモコンで本機の設定/解除が可能

別売オプションのキーレスエントリー:A-17SFを取り付け、この線にエンジンスターターのドアロック/アンロック出力線を接続することで、エンジンスターターのリモコンでセキュリティの設定/解除操作ができます。

- ※ ドアロック/アンロックと同時にセキュリティの設定/解除となります。
- ※ 他社製エンジンスターターやドアロック/アンロック機能のないものでの設定/解除はできません。
- ※ 車種ごとにコントロール方法が異なるため接続できないことがあります。また、別売のドアロックリレーアダプター(A-70)が必要になる場合があります。

7 豊富なオプションにより、独自のセキュリティシステムの構築が可能

- VE-S90付属のリモコンの他に、もう一つ予備のリモコンを持つことができます…追加リモコン:A-11SF
- 鍵のこじ開け、ボディへの衝撃検出(3個まで取り付け可能)…高感度振動センサー:A-12SF
- 人や車などの接近検出…フィールドセンサー:A-13SF*
- ドア開検出(車のドアスイッチの配線に接続)…ドア開検出線:A-14SF*
- ボンネットまたはトランクのオープン検出…傾斜センサー:A-15SF*
- リモコン操作でドアロック/アンロック(ドアロック/アンロックと同時にセキュリティの設定/解除ができます)…キーレスエントリー:A-17SF
- ハザードランプの点滅で警報・撃退…ハザード制御:A-18SF
- 外部サイレンで警報・撃退…外付けサイレン:A-19SF
- セキュリティ設定中はキーでエンジン始動をできなくする…簡易イモビライザー:A-21SF

※印のセンサーはいずれか一つの取り付けになります。

—— 日頃から防犯をお心がけください ——

本機は、車に加えられた異常を感知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全というわけではありませんので、日頃から、次のように、防犯をお心がけください。

- 1 エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
- 2 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を良くお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

注意 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

△記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

●記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

⊘ 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

⊘ 運転中は絶対に操作をしない…わき見運転は重大事故の原因になります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない。…感電や故障の原因となります。

⊘ 機器本体および付属品や別売品を改造しない。…火災や感電、故障の原因となります。

● 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に、確実に取り付け…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⊘ 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

⊘ 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、修理しない。また、改造はしない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない…万一、警報機能が動いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

ご注意 使用上の制限

■ 使用するときは、必ず車のウインドウを完全に閉めてください。ウインドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)

■ 強い雨や電(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウインドウやボディへの衝撃を感知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが働き、警報することがあります。

■ 一部の車輛やカーナビゲーションなどの電装品を装備している車では、一定時間ごとにコンピュータが働いて電圧が下がると、カレントセンサーが感知して警報を発する場合があります。このような場合は、カレントセンサーをOFFにして使用してください。

■ 本機とユピテル製エンジンスタターを併用する場合や、ハザードランプを点滅させて駐車する場合は、カレントセンサーを

OFFにしてください。本機の監視動作中、まれにカレントセンサーが感知して警報する場合があります。なお、エンジンスタターでエンジンを始動すると、本機のセキュリティは解除されます。また、他社製のエンジンスタターで、ACC電源の制御をしていないものとの併用はできません。

■ 本機のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。

■ 本機とユピテル製エンジンスタター「VE-E61K」を併用する場合、VE-E61Kのオートキープ機能の通信範囲が狭くなることがあります。状況に応じてVE-E61Kの通信範囲の設定を変更してご使用ください。

本機を取り付けての盗難やイタズラに関する損害、車の故障や事故などの付随的損害の賠償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意 取り扱いについて

■ リモコンに、落下などの衝撃を与えないでください。

■ リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりすることのないようにしてください

■ リモコンは、お客様の手の届かない場所に保管してください。

■ リモコンは、次のような場所に放置しないでください。

・暖房器具の近くなど、温度の高くなる場所。

・直射日光の当たる自動車内など、温度の高くなる場所。
・湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
・ホコリや油煙の多い場所。
・非常に温度の高い場所。
・電気製品などの近く。

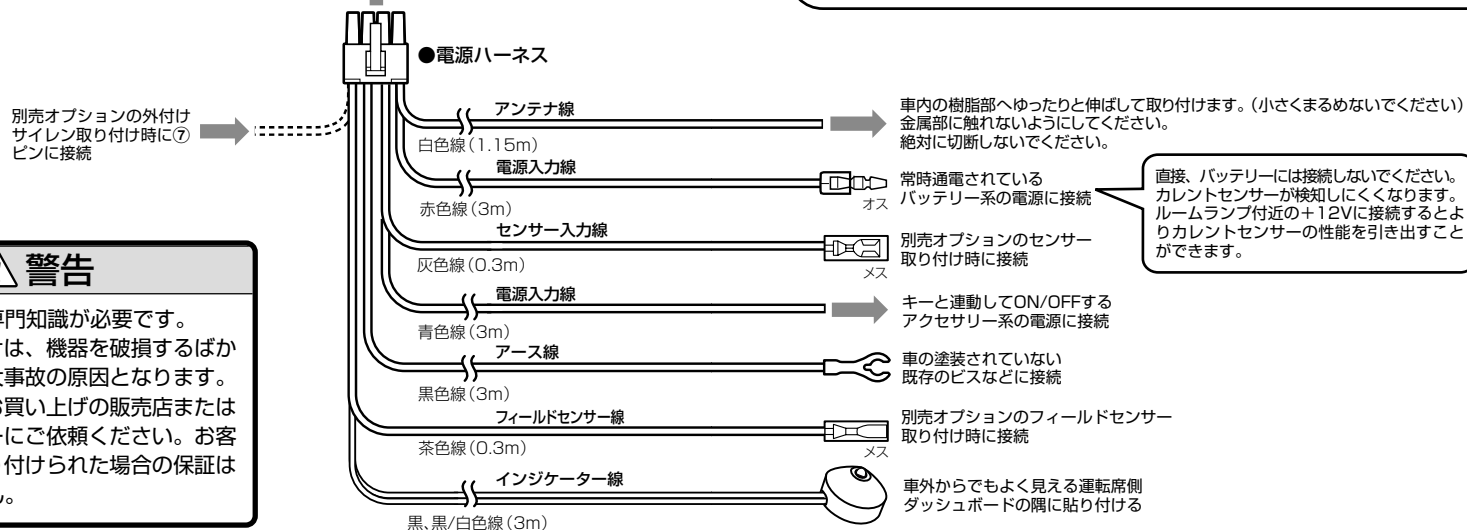
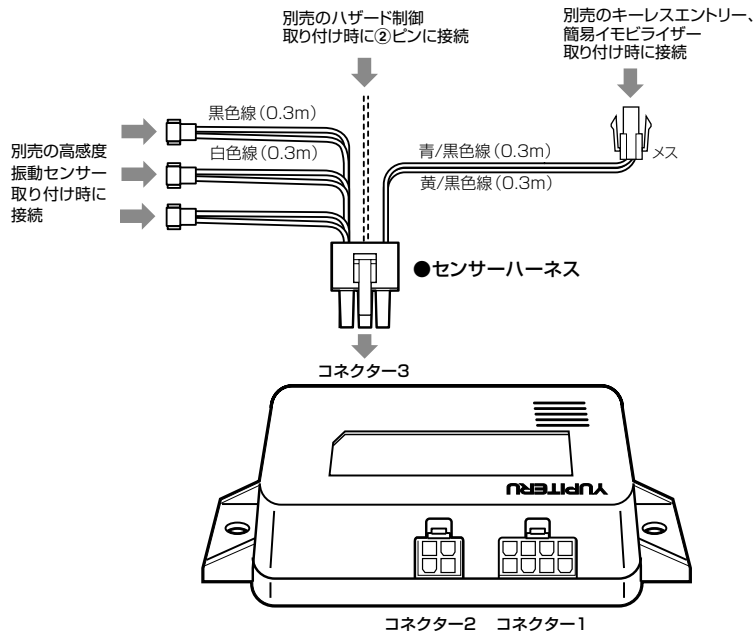
■ リモコンが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジン、シンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

ご注意 スリープ機能について

本機は、セキュリティ設定後、14日間エンジンが始動(ACC、またはONの検出)されないこと、バッテリー保護のためスリープ機能が働

き、セキュリティの監視動作を停止します。(別売オプションの簡易モビライザーは機能維持されます)

基本接続図とセット内容



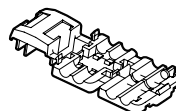
警告

取り付けには専門知識が必要です。
誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。
取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

●リモコン(1)



●エレクトロタップ(2)



●取り付け・接続説明書(1)

●取扱説明書(1)

●保証書(1)

●ご相談窓口一覧(1)

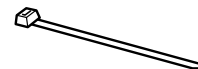
●ワーニングステッカー(1)

●本体ユニット用両面テープ(1)

●セキュリティインジケーター用両面テープ(1)

●コードホルダーセット(1)

●タイラップ(2)



●コードクリップ(10)



※()内の数字は個数を表します。

※ワーニングステッカーは、自動車の
前面ガラスおよび運転席の側面ガラ
スには貼り付けしないでください。
(車輛の安全基準)

各部の名称と働き

本体ユニット(車載機)

インパネ アンダートレーの内側などに取り付けます。

●音圧センサー

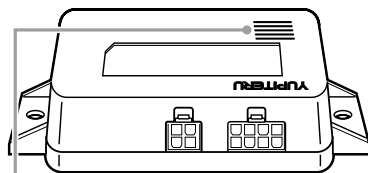
ドアを開いたときや、ウインドウやボディが強打されたときの、わずかな空気振動や衝撃音(弱い衝撃/強い衝撃)を分けて検出します。

強い衝撃の検出感度は、リモコンにより変更できます。

●カレントセンサー

車のドアを開けたときに点灯する車内灯の電流変化を監視します。(ドアの開閉にあわせてルームランプが点灯/消灯しないと感知できません)

リモコンで、カレントセンサーOFFに設定することもできます。



●サイレン

異常を感知すると、警報音(110dB/15cm)を出力します。

△ 注意

- 使用するときは、必ず車のウインドウを完全に閉めてください。ウインドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウインドウやボディへの衝撃を感知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが働き、警報することがあります。
- 本機のカレントセンサーは、トランクルーム内のランプの点灯など、車内灯の点灯に比べ、電流変化の少ないものには反応しません。また、残照灯付きの車輛では、反応しない場合があります。
- 一部の車輛やカーナビゲーションなどの電装品を装備している車では、一定時間ごとにコンピュータが働いて電圧が下がると、カレントセンサーが感知して警告および警報を発する場合があります。このような場合は、カレントセンサーをOFFにして使用してください。
- 本機とユピテル製エンジンスターターを併用する場合や、ハザードランプを点滅させて駐車する場合は、カレントセンサーをOFFにしてください。本機の監視動作中、カレントセンサーが感知して警報する場合があります。なお、エンジンスターターでエンジンを始動すると、本機のセキュリティは解除されます。また、他社製のエンジンスターターで、ACC電源の制御をしていないものとの併用はできません。

リモコン

本機(セキュリティ)の設定や解除ができます。また、スタンバイ時間(セキュリティが設定されてから監視動作にはいるまでの時間)の変更やカレントセンサーのON/OFF設定、音圧センサーや振動センサー(別売オプション)の感度を変更できます。

●送信ランプ

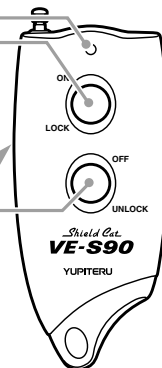
●ON(LOCK)ボタン

セキュリティの設定をONにします。(別売オプションのキーレスエントリーを取り付けている場合は、ドアをロックしてセキュリティONになります)

●電池カバー(背面)

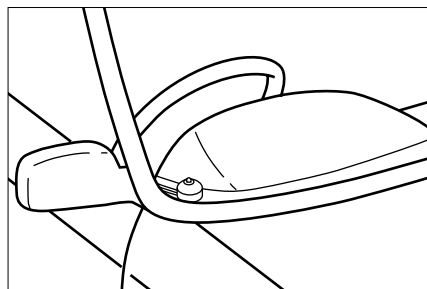
●OFF(UNLOCK)ボタン

セキュリティの設定をOFFにします。(別売オプションのキーレスエントリーを取り付けている場合は、ドアをアンロックしてセキュリティOFFになります)



セキュリティインジケーター

セキュリティシステムの動作状態を知らせます。車外からでもよく見える運転席ダッシュボードの隅に貼り付けてください。



●貼り付け部分をあらかじめクリーニングし、チリや汚れ、脂分などをよく落としてから付属の両面テープで貼り付けてください。

スタンバイモード中は点滅(1秒間に2回点灯)し、監視動作中はゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。また、異常を感知すると、警報中早い点滅(1秒間に4回点灯)になります。

また、スタンバイモード中やカレントセンサーのON/OFF設定、音圧センサーや振動センサー(別売オプション)の感度変更モード中はゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。



- 本機を取り付けるときは、本体ユニットのアンテナ線を小さく丸めたりせず、なるべく伸ばした状態で車の樹脂部にゆったりとはわせて、配線してください。

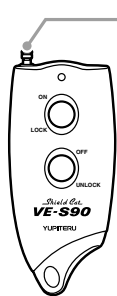
アンテナ線は、金属部には触れないようにしてください。また、切断しないでください。(通信距離が短くなります)

- リモコンから送信される信号は、微弱な電波を使用しています。車から1.5m以内でお使いください。

- 通信距離は、リモコンの向きや方向により変化します。

- ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど、強電界となる付近では通信範囲が狭くなったり、リモコンで操作できないことがあります。

- 本機は、リモコンと本体ユニットのIDが一致しないとリモコンで操作できません。IDは、各セットごとに工場出荷時に設定されています。



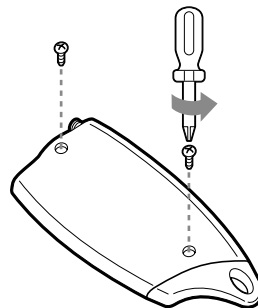
●アンテナ

固定式アンテナです。

※ロッドタイプのアンテナではありませんので、引き出すことはできません。

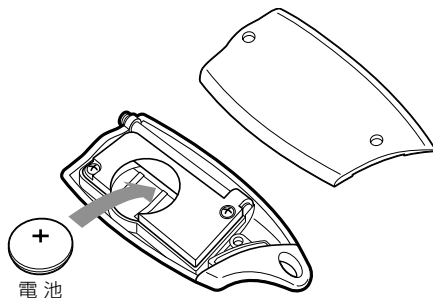
電池交換のしかた

1 電池カバーを開ける



※ネジ、部品の紛失に注意してください。
また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。
※金具をねじると簡単にはずれます。

2 電池(CR1616)を、⊕を上にして入れる



※内部のネジなどには触れないでください。

3 電池カバーを閉める

電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったり、ボタンを押しても送信ランプが点灯しないときは、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR1616)と交換してください。

※使用する条件によって異なります。

※付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

※指定の電池(CR1616)以外は使用しないでください。

⚠ 警告

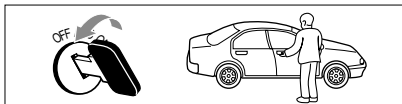
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

セキュリティの設定

セキュリティの設定

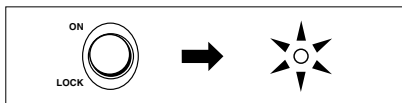
準備

- 1 すべてのウィンドウを完全に閉める
- 2 エンジン进行切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める



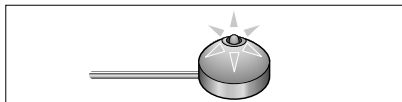
リモコンの操作

- 3 リモコンのON(LOCK)ボタンを、送信ランプが点灯するまで押す



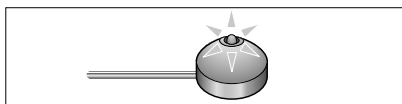
リモコンからの信号を受信すると

- 4 本体ユニットが『ピッ』と鳴り、スタンバイモードになります。



スタンバイモード中はセキュリティインジケータが点滅(1秒間に2回点灯)します。

- 5 スタンバイ時間を経過すると、監視動作になります。



監視動作になると、セキュリティインジケータがゆっくりと点滅(2秒間に1回点灯)します。

※ 別売オプションのキーレスエントリーを取り付けている場合は、リモコンのON(LOCK)ボタンを押すとドアをロックしスタンバイモードになります。

スタンバイモードについて
スタンバイモードとは、セキュリティが設定されてから監視動作に入る(センサーが動作し始める)までの時間で、ターボタイマーなどアフターアイドルリングの時間を想定しています。この間は、ドアの開閉・衝撃音や、車のバッテリーの電圧・電流が変化しても警報しません。スタンバイ時間は4秒/1分/3分/5分から選択できます。(工場出荷時は1分に設定されています)

※ 別売オプションの簡易モビライザーはセキュリティを設定するとスタンバイモード中でも働きます。

● 電動ファン搭載車※やターボタイマーを取り付けている車、ターボタイマー機能付きのエンジンスターターで本機をお使いになるときは、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドルリング時間を見込んでスタンバイ時間を設定してください。(スタンバイ時間経過後で、電動ファンが回り続けている場合や、ターボタイマーのアフターアイドルリングが動作している場合は、警報が鳴ります)



※ 電動ファン搭載車…高速走行や真夏の走行後に、エンジンがある程度過熱していると、エンジン停止後も冷却のために一定時間ファンが回り続ける車種です。

異常を感知すると

監視中にドアが開いたときや、ウィンドウ、ボディへの衝撃を感知したときには、セキュリティインジケータが早い点滅(1秒間に4回点灯)し、次のような警告・警報を発します。

【ウィンドウやボディの小さい衝撃を感知したとき】

警 告 『ピッ[サイレン]』

セキュリティインジケータが約2秒間点滅します。

【ドアが開けられたときや、ウィンドウやボディの強い衝撃を感知したとき】

警 報 『キューーン、キューーン……キューーン[サイレン]』(警報中はセキュリティインジケータが早い点滅をします)

※ 感知センサーにより、回数を覚えて警報します。警報後は監視動作に戻ります。

※ 別売オプションのセンサーや外付けサイレン、ハザード制御を取り付けている場合の動作については30、31ページをご覧ください。

※ 強い衝撃を感知した後でドアが開けられた場合などは、先に感知した警報が優先されます。また、警報中は各センサーの検出は行いません。

⚠ 注意

- 使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を感知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが動き、警報することがあります。
- 一部の車輛やカーナビゲーションなどの電装品を装備している車では、一定時間ごとにコンピュータが働いて電圧が下がると、カレントセンサーが感知して警告および警報を発する場合があります。このような場合は、カレント

センサーをOFFにして使用してください。

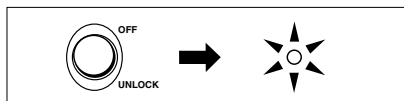
- 本機とユピテル製エンジンスターターを併用する場合や、ハザードランプを点滅させて駐車する場合は、カレントセンサーをOFFにしてください。本機の監視動作中、カレントセンサーが感知して警報する場合があります。なお、エンジンスターターでエンジンを始動すると、本機のセキュリティは解除されます。また、他社製のエンジンスターターで、ACC電源の制御をしていないものとの併用はできません。
- 本機は、車に加えられた異常を感知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して、常に万全というわけではありません。本機の性能・機能を十分ご理解いただき上手にご使用ください。

本機を取り付けての盗難やイタズラに関する損害、車の故障や事故などの付随的損害の賠償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

セキュリティの解除(警報の止めかた)

セキュリティの解除

リモコンのOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点灯するまで押す

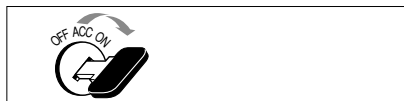


信号を受信すると、本体ユニットが『ピピッ』と鳴り、セキュリティが解除されます。

- 別売オプションのキーレスエントリーを取り付けているときは、リモコンのOFF(UNLOCK)ボタンを押すとドアをアンロックし、セキュリティが解除されます。

または

ドアを開け、エンジンキーをACC以上のポジションまで回す



エンジンキーをACCまたはONにすると、セキュリティが解除されます。

※電波の状態によっては、1度のリモコン操作では本体ユニットが電波を受信できない場合があります。(この場合『ピピッ』音はでません。また警報は止まりません)このような場合は、再度上記のリモコン操作を行ってください。

※エンジンスターターを併用している場合で、セキュリティ設定状態からエンジンスターターでエンジンを始動した場合は、別売オプションの簡易イモビライザー機能を除き、セキュリティが解除されます。

- 別売オプションの簡易イモビライザーを取り付けている場合は、簡易イモビライザーも解除されます。(キーでエンジンをかけることができます)

- 別売オプションの簡易イモビライザーを取り付けている場合は、簡易イモビライザーは解除されません。(キーでエンジンをかけることはできません)

※簡易イモビライザーを取り付けている場合はリモコン操作でセキュリティを解除してください。

スリープ機能について

セキュリティ設定後、14日間エンジンを始動(ACCまたはONが検出されない)しないと、車のバッテリーの消耗を防ぐため、スリープ機能が働きます。スリープ状態になると、本機の動作を停止してセキュリティインジケータの点滅が消灯します。

※別売オプションの簡易イモビライザーを取り付けている場合、本機のセキュリティが設定されている状態でスリープ機能が働いても、簡易イモビライザー機能は維持されます。(詳しくは26ページをご覧ください)

＜スリープ機能を解除するには＞

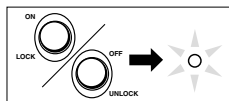
スリープ機能を解除するときは、エンジンキーをACCまたはONにしてください。

スタンバイ時間の変更

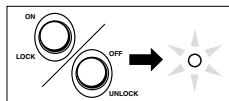
エンジンキーを抜き、セキュリティを解除した状態で操作してください。

- 工場出荷時は1分に設定されています。

- 1** リモコンのON (LOCK) ボタンとOFF (UNLOCK) ボタンを、送信ランプが点滅するまで、同時に押す

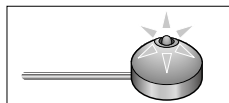


- 2** 3秒以内(送信ランプが点滅中)に、もう1度ON (LOCK) ボタンとOFF (UNLOCK) ボタンを同時に押す

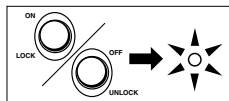


リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットが『ピー ピー ピー』と鳴り、スタンバイ時間の変更モードになります。

※ スタンバイ時間変更モード中は、セキュリティインジケータがゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。



- 3** ON (LOCK) ボタン、またはOFF (UNLOCK) ボタンを、送信ランプが点灯するまで押す



ボタンを押すごとに、本体ユニットが右図のように鳴り、スタンバイ時間を変更できます。

5分	「ビビビビ」
↓	
3分	「ビビビ」
↓	
1分	「ビビ」
↓	
4秒	「ビ」

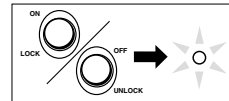
- スタンバイ時間の変更操作から、約30秒経過すると、スタンバイ変更モードを解除(本体ユニットが『ビビ』と鳴ります)して、セキュリティOFFの状態に戻ります。
- 電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車、ターボタイマー機能付きのエンジンスターターで本機をお使いになるときは、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドル時間を見込んでスタンバイ時間を設定してください。(スタンバイ時間経過後で、電動ファンが回り続けている場合や、ターボタイマーのアフターアイドルが動作している場合は、警報が鳴ります)

カレントセンサーのON/OFF設定

エンジンキーを抜き、セキュリティを解除した状態で操作してください。

- 工場出荷時はONに設定されています。

- 1** リモコンのON (LOCK) ボタンとOFF (UNLOCK) ボタンを、送信ランプが点滅するまで、同時に押す



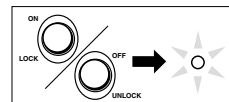
- 2** 3秒以内(送信ランプが点滅中)に、もう1度ON (LOCK) ボタンとOFF (UNLOCK) ボタンを同時に押す

リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットが『ピー ピー ピー』と鳴り、スタンバイ時間の変更モードになります。

- 3** さらにもう1度、手順1、2の操作をする

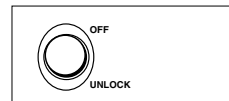
本体ユニットが『ピピッ ピピッ ピピッ』と鳴り、カレントセンサーのON/OFF設定モードになります。

※ カレントセンサーのON/OFF設定モード中は、セキュリティインジケータがゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。



- 4** OFF (UNLOCK) ボタンを押す

本体ユニットが『ピー』と鳴り、カレントセンサーOFFに設定されます。再設定し直す場合は、ON (LOCK) ボタンを押してください。本体ユニットが『ビビビ』と鳴り、カレントセンサーONに設定されます。



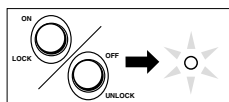
- カレントセンサーON/OFF設定操作から、約30秒経過すると、カレントセンサーON/OFF設定モードを解除(本体ユニットが『ビビ』と鳴ります)して、セキュリティOFFの状態に戻ります。
- 30秒以内にカレントセンサーON/OFFモードを解除する場合は、手順1、2の操作をもう1度繰り返します。(本体ユニットが『ビビ』と鳴り、セキュリティOFFの状態に戻ります)
- 一部の車輛やカーナビゲーションなどの電装品を装備している車では、一定時間ごとにコンピュータが働いて電圧が下がると、カレントセンサーが感知して警報を発する場合があります。このような場合は、カレントセンサーをOFFに設定してご使用ください。
- 本機とユビテル製エンジンスターターを併用する場合や、ハザードランプを点滅させて駐車する場合は、カレントセンサーをOFFにしてください。本機の監視動作中、カレントセンサーが感知して警報する場合があります。

音圧センサーの感度変更(強い衝撃に対応)

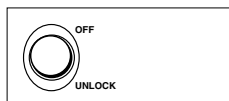
エンジンキーを抜き、セキュリティを解除した状態で操作してください。

- 工場出荷時は感度4に設定されています。

1 リモコンのON(LOCK)ボタンとOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点滅するまで、同時に押す

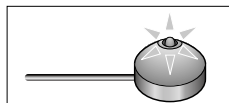


2 3秒以内(送信ランプが点滅中)に、OFF(UNLOCK)ボタンを押す

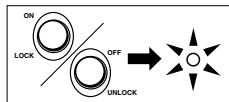


リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットが『ピー ピピッ』と鳴り、音圧センサーの感度変更モードになります。

※ 音圧センサーの感度変更モード中は、セキュリティインジケータがゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。



3 ON(LOCK)ボタン、またはOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点灯するまで押す



ボタンを押すごとに、本体ユニットが右図のように鳴り、感度を変更できます。

※ ON(LOCK)ボタンを押すと感度アップ、OFF(UNLOCK)ボタンを押すと感度ダウンします。

※ 変更した感度設定により、本体ユニットの鳴る音が変わります。

感度5 (最も高い感度)	「ピー」
↓	
感度4	「ピピピッ」
↓	
感度3	「ピピピッ」
↓	
感度2	「ピピッ」
↓	
感度1 (最も低い感度)	「ピッ」

- 音圧センサーの感度変更操作から、約30秒経過すると、音圧センサーの感度変更モードを解除(本体ユニットが『ピッ』と鳴ります)して、セキュリティOFFの状態に戻ります。

- 30秒以内に音圧センサーの感度変更モードを解除する場合は、手順1、2の操作をもう1度繰り返します。(本体ユニットが『ピッ』と鳴り、セキュリティOFFの状態に戻ります)

参考

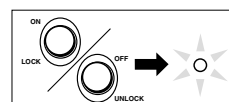
手順3で感度を変更した後(感度変更操作から30秒以内)、車に衝撃を与えることで、変更した感度レベルの確認ができます。(設定レベル以上の衝撃を感知したときには、本体ユニットが『ピッ』と鳴ります) また、続けてON(LOCK)またはOFF(UNLOCK)ボタンを押して、感度を変更できます。

振動センサーの感度変更(別売オプションの振動センサーを取り付けている場合)

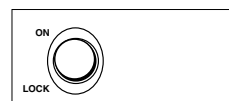
エンジンキーを抜き、セキュリティを解除した状態で操作してください。

- 工場出荷時は感度4に設定されています。

1 リモコンのON(LOCK)ボタンとOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点滅するまで、同時に押す

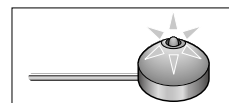


2 3秒以内(送信ランプが点滅中)に、ON(LOCK)ボタンを押す

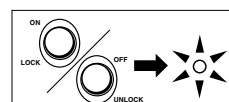


リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットが『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』と鳴り、振動センサーの感度変更モードになります。

※ 振動センサーの感度変更モード中は、セキュリティインジケータがゆっくり点滅(2秒間に1回点灯)します。



3 ON(LOCK)ボタン、またはOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点灯するまで押す



ボタンを押すごとに、本体ユニットが右図のように鳴り、感度を変更できます。

※ ON(LOCK)ボタンを押すと感度アップ、OFF(UNLOCK)ボタンを押すと感度ダウンします。

※ 変更した感度設定により、本体ユニットの鳴る音が変わります。

感度5 (最も高い感度)	「ピー」
↓	
感度4	「ピピピッ」
↓	
感度3	「ピピピッ」
↓	
感度2	「ピピッ」
↓	
感度1 (最も低い感度)	「ピッ」

- 振動センサーの感度変更操作から、約30秒経過すると、振動センサーの感度変更モードを解除(本体ユニットが『ピッ』と鳴ります)して、セキュリティOFFの状態に戻ります。

- 30秒以内に振動センサーの感度変更モードを解除する場合は、手順1、2の操作をもう1度繰り返します。(本体ユニットが『ピッ』と鳴り、セキュリティOFFの状態に戻ります)

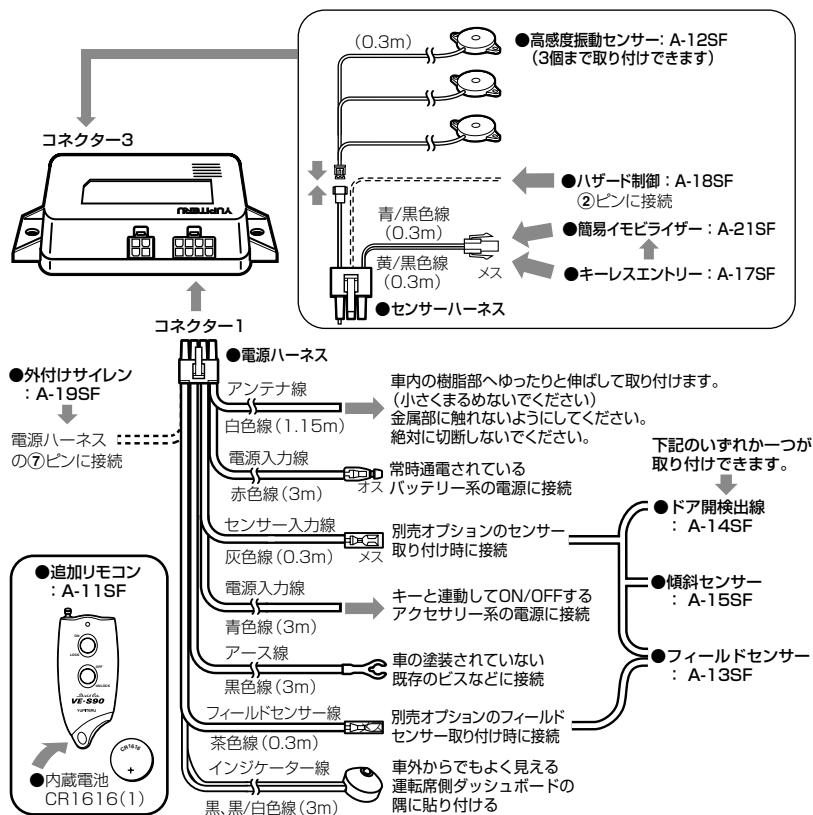
参考

手順3で感度を変更した後(感度変更操作から30秒以内)、車に振動を与えることで、変更した感度レベルの確認ができます。(設定レベル以上の振動を感知したときには、本体ユニットが『ピッ』と鳴ります) また、続けてON(LOCK)またはOFF(UNLOCK)ボタンを押して、感度を変更できます。

別売オプションについて

ShieldCat VE-S90は、次のようなオプションを接続することにより、独自のセキュリティシステムを構成することができます。

オプション単体では、自動車用盗難警告・警報装置として機能しません。



警告

取り付けには専門知識が必要です。
誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。
取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様で自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

高感度振動センサー : A-12SF

車に加えられる0.1秒以上の連続した衝撃や振動を検知するセンサーです。
ドア(鍵穴付近)やトランク(鍵穴付近)、ボディなど、外部からの振動を受けやすい場所、検出したい場所に取り付けてください。

- 主に鍵穴への異物挿入、ドアノブからの衝撃の検出を目的として使用します。
- 振動センサーは3個まで取り付けられます。
- 振動センサーの感度は、リモコンで変更できます。(19ページ)

振動センサーは、衝撃や高い周波数の振動を検知します。ゆるやかな揺れや傾きを検知することはできません。また振動センサーの感度が高めに設定されているときは、高い周波数の音を検知し、周囲の騒音や振動で反応することがあります。

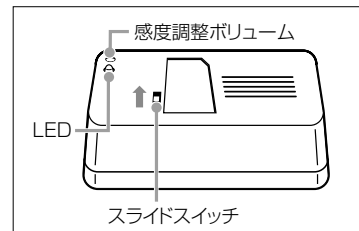
フィールドセンサー : A-13SF

車室内・車の周囲で、人や車などが近づくことを感知するセンサーです。
アームレストの上、コンソールなど、車室内の中央付近に、水平に取り付けてください。(できるだけ高い位置に取り付けると、検出範囲が広がります)

- フィールドセンサーの感度は、感度調整ボリュームにより調整できます。

1. フィールドセンサーの感度調整

- (1) フィールドセンサーケース内部のスライドスイッチを右図の矢印の方向にスライドする(つまようじなど、先の細いものでスライドさせます)
- (2) フィールドセンサーの感度調整を行う。
① 取り付け予定位置にセンサーを置き、外に出てドアを開める



参考

- このセンサーは、センサーの周りの電界の変化を検出するセンサーです。車外の検出は窓など金属ではない部分からの検出に限られ、熱線吸収ガラスやミラーフィルムを使っている車では、車外の検出をできない場合があります。また、スモークタイプのフィルムによっては、多少検出範囲が狭くなります。
- 検出範囲は車のウィンドウ周辺です。(動くもののみ検出します)
- 車室内のできるだけ中央に取り付けてください。
- 指向性がありますので、水平に取り付けてください。
- 近くに金属があると感度が落ちますので、できるだけ金属部から離してください。
- 感度を上げるためには、できるだけ高い位置に取り付けてください。

- ② 体を動かさずに、LEDの状態を見る。
 - 点滅が止まらない場合…(2-1)の調整をする。
 - 点滅が止まる場合…(2-2)の確認をする。

- (2-1) ① 車に乗り込み、ドアを閉める
- ② プラスドライバーで感度ボリュームをゆっくり左に回し、点滅しなくなる
ところ(消灯状態)で止める
このとき、できるだけ体を動かさずに作業してください。また、ボリュー
ムには力をかけすぎないように注意してください。
- ③ 外に出て、ドアを閉める
- ④ 感度を確認する…(2-2)へ
- (2-2) ① 感度を確認する
ウインドウ付近で体を動かすとLEDが点滅し、体を動かさないとLEDは消
灯しています。
- ② 必要であれば、感度調整を行ってください…(2-3)へ
- (2-3) ① 車に乗り込み、ドアを閉める
- ② 感度を上げる場合…プラスドライバーで感度ボリュームを少し(10°～
15°)右に回す
感度を下げる場合…プラスドライバーで感度ボリュームを少し(10°～
15°)左に回す
- ③ 手順(2)を繰り返す

(3) 調整が終わったら、フィールドセンサーのスライドスイッチを前ページの図の矢
印と逆方向にスライドする

2. 次の手順でフィールドセンサーの検出とアラーム出力の確認をする

- (1) 車外に出てドアを閉め、セキュリティを設定(ON)する
- (2) スタンバイ時間経過後、セキュリティが監視状態になっていることを確認して(イ
ンジケーターがゆっくりと点滅しているか、またはウインドウなどに弱い衝撃を加
え『ピッ』と鳴ることを確認する)、車に近づくなどの動作をする
- (3) フィールドセンサーが接近を検出すれば、本体ユニットから『キューーン キュー
ーン キューーン…』というサイレンが鳴ります

参考

- フィールドセンサーが検出して1度警報を出力すると、その後2分間は次の検出を行
いません。

ドア開検出線：A-14SF

ドア開を検出します。

車のドアスイッチケーブルに接続してください。

- ドアの開閉に連動して点灯/消灯するように、車内灯をセットしてください。

傾斜センサー：A-15SF

ボンネットやトランクを開けられた場合に、その傾斜を検出するセンサーです。

取り付けは、水平な場所で行ってください。駐車場が傾斜地にある場合は、その場所の
傾斜にあわせて取り付け角度を調整してください。

キーレスエントリー：A-17SF

本機のリモコンから、ドアロック/アンロックの操作ができます。
車側のドアロック/アンロック制御線に接続してください。

- リモコンでドアをロックすると、本機のセキュリティが設定(ON)され、アンロック操作をすると解除(OFF)されます。
ドアロック/アンロックの操作を受け付けると、本体ユニットがそれぞれ『ビッ』、『ビビッ』と鳴ります。
- 本機のリモコンからのドアロック/アンロック操作は、一部の車種を除きエンジンがかかっている状態でも行えますが、セキュリティはエンジンを切った状態(エンジンキーOFF)でないと設定できません。
セキュリティの設定/解除は、エンジンキーを切った状態で行ってください。

参考

- ユビテルのドアロック/アンロック機能付きエンジンstarterを併用する場合は、エンジンstarterのドアロック/アンロック出力をA-17SFのコネクターとダイオードの間から取り出す(接続する)ことで、エンジンstarterのリモコンから上記のセキュリティ設定(LOCK)/解除(UNLOCK)操作ができるようになります。(詳しくは、取り付け・接続説明書の19ページをご覧ください)

※ユビテルのエンジンstarterは、国産のオートマチック車で、専用ハーネスの設定がされている車種に取り付けが限定されます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

※ドアロック/アンロック機能は、車種ごとにコントロール方法が異なり、使用できない場合もあります。また車種により、別売のドアロックリレーアダプター：A-70が必要になる場合があります。

⚠ 注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアのロック/アンロック操作ができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機はオートリロック機能*を搭載していませんので、車を離れる場合は、必ずドアのロック状態の確認をお願いします。
※ドアアンロック後にドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能
- 本機のセキュリティ設定が設定(ドアロック)されている状態から、エンジンstarterのリモコンなど、本機以外のリモコンから再度ドアロックの操作を行った場合は、センサーが感知し警報が鳴ります。

ハザード制御：A-18SF

リモコンでセキュリティの設定/解除をすると、それぞれ1回/2回、ハザードランプを点滅させることができます。

警報中はハザードランプを点滅させます。また、キーレスエントリー：A-17SFを接続している場合には、リモコンでドアロック/アンロックの操作をすると、それぞれ1回/2回、ハザードランプを点滅させることができます。

車のハザードランプ(右/左)の配線のプラス側に接続してください。

外付けサイレン：A-19SF

車室外に取り付けたサイレンを鳴らして警報することができます。

- 異常を感知したときの動作については31ページをご覧ください。

外付けサイレンは、開口部に雨水がかからない場所に取り付けてください。

簡易イモビライザー：A-21SF

セキュリティを設定している間、エンジンキーではエンジンをかけられないようにできます。

リモコンでセキュリティを解除すると、簡易イモビライザー機能も解除されます。

- リモコンの電池切れ、または故障などの場合、簡易イモビライザー機能が解除できなくなります。本オプションを取り付ける場合は、別売オプションの追加リモコン：A-11SFの購入をおすすめします。
- ユビテルのドアロック/アンロック機能付エンジンスターターを併用して、エンジンスターターのリモコンから操作を行う場合は、エンジンスターターのドアロック/アンロック出力を、別売オプションのキーレスエントリー：A-17SFのコネクターとダイオードの間に接続します。(エンジンスターターのリモコンから上記の設定/解除操作ができるようになります)

参考

- 簡易イモビライザー機能は、本機のセキュリティを設定(ON)後、スタンバイ中やスリープ機能が働いた場合でも維持されます。
※スリープ機能が働いた状態(簡易イモビライザーを取り付けている場合)からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除(キーでドアを開けエンジンキーをACCまたはONにする)した後、簡易イモビライザー機能を解除(リモコン操作でセキュリティをOFFにする)してください。
- ユビテルのエンジンスターターを併用する場合は、本機の接続部位(STライン切断部位)よりも車側に、エンジンスターターを接続してください。(取り付け・接続説明書をご覧ください)
セキュリティ設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。(アイドリングを開始すると、簡易イモビライザー以外の機能は解除されます)

追加リモコン：A-11SF

本機付属のリモコンの他に、もう一つ、予備のリモコンを持つことができます。

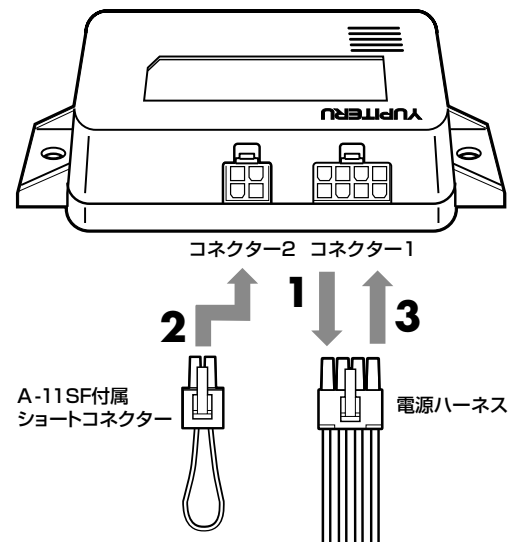
本機はリモコンと本体ユニットのIDが一致しないと、リモコン操作できません。

- 予備のリモコンを持つ場合や、付属のリモコンを紛失してしまった場合などで追加リモコン：A-11SFを購入されたときには、IDを書き込むことで使用できるようになります。
※ VE-S90の付属リモコンでご使用になる場合は、すでにIDが書き込まれているので以下の操作は必要ありません。

IDの書き込み方法

エンジンキーを抜き、車を駐車した状態で操作してください。

1. 本体ユニットのコネクター1に接続されている電源ハーネスをいったん抜く
2. A-11SF付属のショートコネクターをコネクター2に差し込む
3. 電源ハーネスを本体ユニットのコネクター1に差し込む
ID書き込みモードになり、本体ユニットが『ピッ ピッ ピッ…』と連続して鳴ります。



別売オプションについて

4. リモコンのON(LOCK)ボタンとOFF(UNLOCK)ボタンを、送信ランプが点滅するまで、同時に押す

5. 3秒以内(送信ランプが点滅中)に、もう1度ON(LOCK)ボタンを押す
リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットから鳴る音(『ピッ ピッ ピッ...』)の間隔が短くなります。

6. もう1度、手順4、5の操作をする

リモコンからの信号を受信すると、本体ユニットが『ピピピッ』と鳴り、その後『ピッ ピッ ピッ...』というID書き込みモード時の音に変わります。

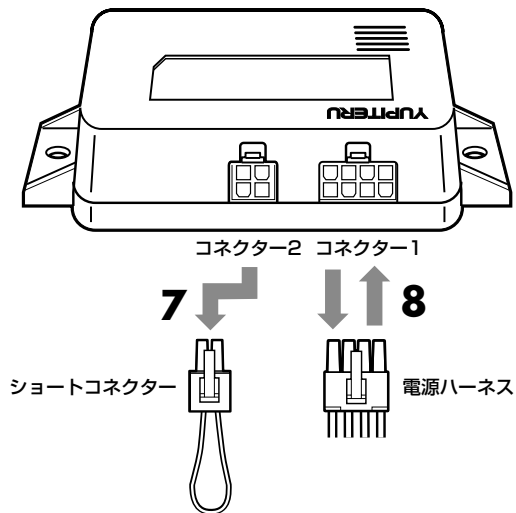
以上で、ID書き込みが完了しました。次に手順7、8の作業を行うことで、通常に使用できるようになります。

●追加リモコンと本機付属のリモコンの両方をご使用になる場合は、続けて、もう一つのリモコンのID書き込み(手順4～6)操作を行い、次に手順7、8の操作を行うことで、2つのリモコンが使用できるようになります。

7. 本体ユニットのコネクター2に接続されているショートコネクターを抜く

8. 本体ユニットのコネクター1に接続されている電源ハーネスを抜いた後、差し込む

以上で終了しました。



参考

●手順3～6の操作中に『ピー ピー ピー』と本体ユニットが鳴ったときは、ID書き込みエラーですので、手順1から操作をやり直してください。

動作の確認方法

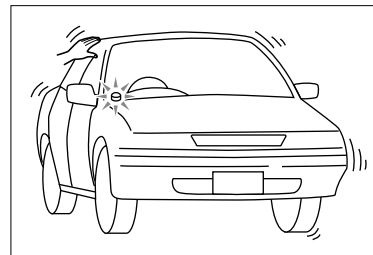
本機の音圧センサーおよび別売オプションの振動センサーは、ゆっくりと大きな動きの揺れには鈍く、瞬間的な衝撃には鋭く反応しますので、動作を確認するときは、「車やウィンドウ・鍵穴をたたくような振動・衝撃を与える」、「ドアを開く」などを行ってください。また、別売オプションの各センサーを取り付けている場合は、各センサーの動作に応じたテストを行ってください。

1 セキュリティを設定(12ページ)し、監視動作になるまで待つ。

2 振動や衝撃を車に加える、またはドアを開くなどして本体ユニットのサイレンが鳴る(警報する)かを確認する

各センサーが検出するとサイレンが鳴り出し、セキュリティインジケータのゆっくりした点滅が、早い点滅に変わります。

※ 本機の動作「異常を感知したときの動作」については、次のページをご覧ください。



サイレンが鳴らない(警報しない)場合には

1. セキュリティシステムをいったん解除する
2. 音圧センサーの感度・振動センサー(別売)の感度などを変更する
3. 再び各センサーのテストを行う

必要に応じて、スタンバイ時間の変更、カレントセンサーのON/OFF設定を行ってください。

⚠ 注意

各センサーをテストするときには、ウィンドウガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。

万一破損などが発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

異常を感知したときの動作

本機の付属センサーおよび別売オプションのセンサーが異常を検出すると、次のような警告・警報をします。

■ 付属品の警報

	センサー	異常検出	本体ユニットのサイレン	セキュリティブザー
付属品	音圧センサー	弱い衝撃	『ピー』(0.2秒)	早い点滅(2秒)
		強い衝撃	『キューーン キューーン キューーン』 ×5回(10秒)	早い点滅(10秒)
		ドア開 (車内気圧変化)	『キューーン キューーン キューーン』 ×4回(8秒)	早い点滅(8秒)
	カレント センサー	ドア開 (電流変化)	『キューーン キューーン キューーン』 ×2回(4秒)	早い点滅(4秒)
	音圧センサー+ カレントセンサー	ドア開(車内気圧 変化+電流変化)	『キューーン キューーン キューーン』 ×7回(14秒)	早い点滅(14秒)
別売オプション	振動センサー	振動	『キューーン キューーン キューーン』 ×6回(12秒)	早い点滅(12秒)
	フィールド センサー	人や物の接近	『キューーン キューーン キューーン』 ×3回(6秒)	早い点滅(6秒)
	ドア開検出	ドア開	『キューーン キューーン キューーン』 ×7回(14秒)	早い点滅(14秒)
	傾斜センサー	傾き	『キューーン キューーン キューーン』 ×7回(14秒)	早い点滅(14秒)

- ※ 一連の警告・警報終了後は、再度、監視モードとなります。ただし、フィールドセンサーは1度警報を出力すると2分間は動きません。
- ※ 強い衝撃を感知した後、ドアが開けられた場合などでは、先に感知した警報が優先されます。また、警報中は各センサーの検出は行いません。

■ 別売オプションの警報

	センサー	異常検出	外付けサイレン	ハザードランプ
付属品	音圧センサー	弱い衝撃	×	×
		強い衝撃	×	○
		ドア開 (車内気圧変化)	×	○
	カレント センサー	ドア開 (電流変化)	×	○
	音圧センサー+ カレントセンサー	ドア開(車内気圧変化 +電流変化)	『ピュー ピュー ピュー』 ×7回(14秒)	○
別売オプション	振動センサー	振動	『ピュー ピュー ピュー』 ×6回(12秒)	○
	フィールド センサー	人や物の接近	×	○
	ドア開検出	ドア開	『ピュー ピュー ピュー』 ×7回(14秒)	○
	傾斜センサー	傾き	『ピュー ピュー ピュー』 ×7回(14秒)	○

- ※ 一連の警告・警報終了後は、再度、監視モードとなります。ただし、フィールドセンサーは1度警報を出力すると2分間は動きません。
- ※ 強い衝撃を感知した後、ドアが開けられた場合などでは、先に感知した警報が優先されます。また、警報中は各センサーの検出は行いません。
- ※ ドアロック/アンロック機能付エンジンスタターを併用している場合などで、セキュリティが設定(ドアロック)されている状態から、エンジンスタターのリモコンなど、本機以外のリモコンから再度ドアロックの操作を行った場合は、センサーが感知して警報が鳴ります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことを確認してください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店または弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にご相談ください。

症 状	チェック項目	実施項目
セキュリティがセットされない。動作しない。	●車のエンジンキーがOFFになっていますか？ エンジンがかかっているときや、エンジンスイッチがACCまたはONのときは、セキュリティを設定できません。 ●セキュリティを設定してから監視モードに入るまでの時間が経過していますか？ ●電池が消耗していませんか？ リモコン操作できる距離が短くなった、ボタンを押しても送信ランプが点灯しない場合は、電池の寿命です。 ●電池が正しく入っていますか？ ●車と離れすぎていませんか？ ●本体ユニットのアンテナ線が小さく丸められたり、金属に触れていませんか？ ●配線や接続が正しく行われていますか？ ●スリープ機能が働いていませんか？ ●車のバッテリーが弱っていませんか？	●車のエンジンをOFFにしてから、リモコンを操作してください。 ●スタンバイ時間が経過するまで待つ。スタンバイ時間(監視モードに入るまでの時間)は4秒/1分/3分/5分の中から、リモコンで変更できます。 ●新しい電池と交換してください。 ●正しく電池をセットしてください。 ●電波の届く範囲内でリモコンの操作を行ってください。 ●ゆったりと引き伸ばした状態にしてください。また、金属部には触れないようにしてください。 ●本体ユニットのアース線(黒色線)が塗装されていないビスなどに正しく接続されているか確認してください。 ●電源入力線の青色線がキーと連動してON/OFFするアクセサリ電源に正しく接続されているか確認してください。 ●1度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。 ●バッテリーを充電するか、新品と交換してください。
ドアを開けても、振動を与えても、警報しない。	●すべてのウインドウが完全に閉まっていますか？	●すべてのウインドウを完全に閉めてください。

症 状	チェック項目	実施項目
ドアを開けても、振動を与えても、警報しない。	●セキュリティが監視状態になっていますか？ セキュリティ設定後、各センサーが動作(監視)に入るのは、スタンバイ時間(4秒/1分/3分/5分:リモコンで任意に設定)経過後です。 ●スリープ機能が働いていませんか？ ●音圧センサーやオプションのセンサーの感度が低く設定されていませんか？ ●車の車内灯が、ドアの開閉に連動して点灯/消灯しますか？ ●カレントセンサーがOFFになっていませんか？	●セキュリティを設定し、スタンバイ時間経過後に動作を確認してください。 ●1度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。 ●車の状態や環境に合わせて、感度を変更してください。 ●ドアの開閉に連動して点灯/消灯するように、車内灯をセットしてください。 ●リモコンでカレントセンサーをONに設定してください。
異常がないのに、警報が鳴る。	●音圧センサーやオプションのセンサーの感度が高く設定されていませんか？ ●駐車中に、セキュリティを設定してハザードランプを点灯させていませんか？ ●一部の車輪やカーナビゲーションなどの電装品を装着している車では、一定時間ごとにコンピュータが働いて電圧が下がると、カレントセンサーが感知して警報を発する場合があります。 ●スタンバイ時間が、車に合わせて正しく設定されていますか？	●車の状態や環境に合わせて、感度を変更してください。 ●ハザードランプを消灯させるか、リモコンでカレントセンサーをOFFに設定してください。 ●リモコンでカレントセンサーをOFFに設定してください。 ●電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車でお使いになる場合は、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドリング時間を見込んで、スタンバイ時間を設定してください。
キーでエンジンがかからない	●簡易イモビライザー機能が働いていませんか？ (別売オプションの簡易イモビライザーを取り付けている場合)	●リモコンでセキュリティを解除してください。 別売オプションの簡易イモビライザーを取り付けている場合は、リモコンでセキュリティを解除しないとキーでエンジンをかけることはできません。

アフターサービスについて

① 保証書(別に添付しています)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

② 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部品

機器本体(消耗部品を除く)

③ 修理を依頼される時

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

④ アフターサービスなどについて

ご不明の点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

⑤ リモコンのスペアについて

リモコンを紛失や破損したときは、スペアのリモコンをお買い求めいただけますが、本体ユニットと一致したIDを記録する必要があります。詳しくは、27ページをご覧ください。

仕 様

■本体ユニット

電源電圧 : 12V車専用

消費電流 : 監視中…12mA

警報中…250mA

スリープモード時…6mA

動作温度範囲 : -20℃～+60℃

寸 法 : 97mm(幅)×28mm(高さ)×75mm(奥行き)

重 量 : 107g

■リモコン

使用電波 : 微弱電波

使用電池 : リチウム電池CR1616×1

動作温度範囲 : -10℃～+50℃

寸 法 : 32mm(幅)×73mm(高さ)×14mm(奥行き)
(突起部含む)

重 量 : 24g

■別売オプション

追加リモコン : A-11SF 標準価格 9,800円(税別)

高感度振動センサー : A-12SF 標準価格 3,800円(税別)

フィールドセンサー : A-13SF 標準価格 9,800円(税別)

ドア開検出線 : A-14SF 標準価格 900円(税別)

傾斜センサー : A-15SF 標準価格 3,800円(税別)

キーレスエントリー : A-17SF 標準価格 2,000円(税別)

ハザード制御 : A-18SF 標準価格 5,800円(税別)

外付けサイレン : A-19SF 標準価格 5,800円(税別)

簡易イモビライザー : A-21SF 標準価格 5,800円(税別)

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
ただし、上記以外の取り付け・接続、使用状態による付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

VE-S90